



教育委員コラム

発行元
弟子屈町教育委員会
教育長 小林 俊夫
職務代理 小澤 重
委員 榎本 悦子
委員 菅原 誓之
委員 金井 秀明



弟子屈町教育委員会

〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場
電話:015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

教育委員リレーコラム

「第1回弟子屈町イングリッシュキャンプ」の開催について

委員 金井 秀明

第1回弟子屈町イングリッシュキャンプが、夏休み中の8月11日～13日の3日間、町内美留和にある玉川大学弟子屈農場の美留和晴耕塾で開催されました。中高生は初日からの参加となり、小学生は2日目からとなりました。今回参加した人数は、小学生7名、中学生12名、高校生5名が参加しました。主催は弟子屈町教育委員会、弟子屈町教育研究所、イングリッシュキャンプ（以下EC）実行委員会が行いました。講師はALTのウィリアム クラー氏、アラン ウィットマン氏が中心となり、EC実行委員長伊藤美留和小学校校長と教育研究所英語部会の先生方、釧路教育局から寺田義務教育指導主事、ALTのシュアート ブライアン氏に参加して頂きました。また玉川大学から英語教育学科の工藤准教授と同学科院生1名と学生2名が講師として参加しました。



初日開会式の後、ウィリアムとアランの自己紹介が有り、所々質問を交えながら、アメリカの地理や文化も紹介し、アメリカの勉強にもなりました。参加者の自己紹介などもありましたが、生徒の一番大きく響いたのが、「イングリッシュキッチン」です。メニューは「hamburger, potato salad and potato chips」。このミッションで最大の関門は、全ての食材、調理道具はウィリアム先生とアラン先生の前に並べられ、正しい英語で「何々をください」と言わないともらえないことです。包丁、まな板、ポテトサラダ用の野菜などです。箸も英語で何膳ください、と言わないともらえません。普段の優しい二人はそこにはいません。「No!」との声が何度も響き渡ります。各班で貰う物の担当が決まっていますので皆必死です。食材や調理器具意を揃えるのが先決で、野菜を切るなど料理はまだこれからです。ハンバーガーはバーンズこそ用意されていますが、パテ用の合いびき肉を作るところからです。料理を作ったことのない子もいて大変な賑わいでしたが、皆で調理した楽しい「イングリッシュキッチン」でした。最後に出来上がったハンバーガーやポテトサラダを盛りつけ、横にポテトチップスを載せれば完成です。ウィリアム先生ご自慢のレシピ、アメリカ定番メニューが出来上がりました。美味しく頂きました。2日目は寺田指導主事を中心に英語力向上メニュー「イングリッシュトライアル」の講義が行われました。午後から小学生も参加し歓迎セレモニーや自己紹介（小学生にとっては大変）が行われました。その後玉大工藤准教授による「世界の言語と英語」の講義がなされ、我々も大いに参考になりました。楽しい2回目の「イングリッシュキッチン」今晚はカレーライスです。今晚も楽しく、美味しい夕食でした。料理風景は省略しますが、「お玉」の英語で苦労しました。夕食後玉川大学の院生学生が中心となり、児童生徒に弟子屈町の良い所、人に紹介したい所の問いがあり、皆から沢山の答えがありました。それを班ごとでまとめ翌日英語で発表です。3日目は先生方が外国人の旅行者になって、子供



たちから弟子屈町のオススメスポットの説明を受けます。小学生も中高生の助けを借りて、弟子屈町の良い所を立派に説明できました。参加した子供たちも自信となり、弟子屈町の再確認にもなったと思います。最後の振り返りでは英語で反省や感想を述べてくれました。短い期間でしたが、成果はあったと確信しています。ECの運営にあたって多くの方々のお力添えが在り成功する事ができました。小林教育長、須藤指導室長や教育委員会職員の皆様、各学校長、教頭、教諭の皆様、釧路教育局の皆様、場所を提供してくれた玉川大学など、皆様に深謝申し上げます。

教育あっちこっち情報



美留和小学校収穫祭

教育委員 金井 秀明

9月14日、美留和小学校の収穫祭に招待していただき、美味しい昼食を堪能して来ました。子供たちが春から育てた野菜（ジャガイモやニンジン）をたくさん使ったカレーライスをごちそうになりました。甘いミニトマトも付け合わせていただきました。児童数が少ないのでその日は皆大忙しです。招待客をお迎えし、席まで誘導する係、配膳係、お茶を出す係など一人で何役もこなします。カレーも甘口、辛口と大きな鍋2つも作ってくれ、お米も23合炊いたそうです。1、2年生の挨拶の後、食事開始。私と同席の児童は特盛です。そんなに食べられるのと心配になるくらいです。しかしそんな心配もよそに、辛口も食べてみたいとおかわりです。見事な食べっぷり、私もつられておかわりしてしまいました。



「弟子屈中学校文化祭」

教育委員 菅原 誓之

9月30日に弟子屈中学校の文化祭に行ってきました。今回の文化祭は開校70周年を記念する、第71回目の開催ということで、多くの父母や関係者、町民の皆さんが見に来ていました。玄関を入ると、生徒の作品などが展示され、見せ方にも工夫が施されていることがわかりました。

また、体育館では各クラスでの発表や合唱など、文化祭に向け沢山の練習を重ねてきた事もうかがえました。

午後からは、生徒会企画の中、生徒自身が表現したい事をグループを組み、歌やダンスなど生徒みんなから手拍子や掛け声上がるなか、大変大盛り上がりでの発表もあり、楽しいひと時を過ごさせて頂きました。



川湯小学校の学芸会を観ました

教育委員 榎本 悦子

11月11日は川湯小学校の学芸会でした。今年はダンスだけの発表はなく、1年生、2・3年生、4・5年生、6年生4つの劇がありました。そして、劇の中にダンスや縄跳び・跳び箱などを披露する場面をもうけていました。1年生は初めての学芸会ですが、国語の「けんかした山」を硫黄山・かぶと山と川湯版にした楽しいものでした。どの学年も皆大きな声で発表でき、楽しく観ることができました。中間に、「川湯ばやし」もありましたが、子供の太鼓を支える笛や太鼓が、小学校時代にやっていたお父さん・お母さんで構成されていて、心温まるものがありました。運動会と同じように児童数の3~4倍の観客がありました。これからも地域で子供たちを見守っていききたいと思いました。



釧路芸術館で「我が町のお宝展・弟子屈町」開催

教育長 小林 俊夫

9月9日~10月4日にわたって、釧路芸術館企画による「我が町のお宝展・弟子屈町」が開催されました。「てしかがの蔵」・「屈斜路コタンアイヌ民俗資料館」・「更科源藏文学資料館」・「弟子屈町図書館」・「弟子屈町役場」の所蔵品を中心に、貴重な写真・陶器・衣装・楽器・観光ポスター・書籍・各種施設案内パンフ等の展示のほか、会場内に観光PR用DVDを上映するなど、全部で約100点もの「宝物」が所狭しと展示され、見応えのある「お宝展」となりました。

多くは釧路市民の皆さんが来場していたようですが、皆さんそれぞれ興味を持って見て頂きました。

今後においても、釧路管内市町村の情報発信の場としても、釧路芸術館が利用されることを期待したいものです。



第41回道民芸術祭 釧路管内研修事業 釧路地方文化団体役員等研修会

職務代理 小澤 重

平成29年11月25日~26日 今年、弟子屈町文化協会の主管で川湯温泉「ホテルきたふくろう」に於いて、釧路管内10支部役員多数の参加で行われました。参加対象は、管内文化団体役員及び会員・管内市町村教育委員会・社会教育関係者。今回の研究主題は、「芸術・文化の地域連携による次代への継承」。研修内容(1)講演、演題「北緯43° 雪と氷の世界から」講師蜂谷衛氏。(2)提言、釧路市テーマ「文化芸術団体と教育現場との連携、釧路市小中学校芸術文化活動支援授業実例」提言者、林淳子様。提言、厚岸町テーマ「厚岸町無形文化財(厚岸かぐら)の保存・伝承活動について」、車塚洋様。この様に連携した関係者皆様の熱心なご尽力により、毎年管内文化活動交流が積極的に行われ、各市町村の文化芸術の振興・発展に繋がっているものと思います。



★ ★ 編集後記 ★ ★

今年も早12月になりました。この1年間で学校教育や社会教育の行事やイベント等が沢山開催され、数多くの皆さんにご協力やご参加を頂きました。有り難く感謝致しますとともに、来年も沢山の声掛けを頂きます様、お願い申し上げます。(菅原)